

令和4年度 一般入学試験（二次募集）

小論文

（ 10時05分 ～ 11時05分 ）

（受験上の注意）

- 1 「始め」の合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。
- 2 受験票は、机の右上に置きなさい。
- 3 「始め」の合図があったら、まず、問題用紙と原稿用紙に受験番号と氏名を記入しなさい。原稿用紙の左下の※のある枠には何も書いてはいけません。
- 4 印刷が不鮮明なときは、だまって手を挙げなさい。なお、課題に関連する内容や小論文作成上の質問には答えられません。
- 5 「やめ」の合図があったら、すぐに筆記用具を置いて、解答用紙を裏返しにしなさい。原稿用紙は問題用紙及び下書き用紙とあわせて回収します。
- 6 原則、途中退出はできません。体調不良等により退室しなければならない場合は、だまって手を挙げ、試験監督の指示に従ってください。
- 7 試験終了後は、試験監督の指示に従ってください。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

宮崎県立農業大学校

令和4年度 一般入学試験（二次募集） 小論文

「テーマ」

次の文章を読み、文中にある「共同」・「協同」・「協働」から一つ選び、その「きょうどう」と関連させながら、あなたの考える農業経営（フードビジネスを含む）について、800字で述べなさい。

環境負荷を減らしながら農業生産を増やす——。新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）と地球温暖化。人類が直面する二つの脅威を克服するための日本農業の使命である。遂行には、多様な担い手による「きょうどう」の取り組みが不可欠である。

読みが「きょうどう」で、意味も似ている漢字に「共同」「協同」「協働」がある。『三省堂国語辞典』はそれぞれ「ふたり以上の人がいっしょにする／使うこと」「同じ目的のために、しくみを作って、力をあわせること」「同じ目的のために、力をあわせて働くこと」と解説する。

三つとも農業者らの連携の形でもある。これを手掛かりに、日本農業の使命を遂行する方策を考えたい。

「令和4年1月1日 日本農業新聞 論説 抜粋」